

愛のない批判

2023年07月02日

「私は一目見れば、その人のことが分かる」という人は、高慢な人です。そのような態度は、罪の中でも最も大きな罪です。神様のほかに誰がほかの人を完全に分かると言えるでしょうか。

一人の人の人格は、その人が築いてきた人間関係や環境などによって形成される複雑なものです。その人がそのように生きるしかなかった理由、そのように考えて発言し、行動するしかなかった理由があるのです。

アメリカ先住民のことわざに、「その人を知ろうと思うなら、彼の靴を履いて一日歩いてみよ」という言葉があります。その人と同じ環境で過ごさない限り、決してその人を理解することはできないという意味です。彼らのある部族は友達の家に行くと、何も言わずに友達が生活しているのをじっと見て、何も言わずに帰るそうです。彼らにとって友達とは、自分の生活をありのまま見守ってくれる存在なのでしょう。私たちも人と接するとき、その人について早急に評価してはいけません。その人がどのような人なのかは、神のみぞ知ることです。自分の物差しで人を判断することこそ、罪の中の罪です。

人を批判してはならない重要な理由は、批判している間はその人を愛することが出来ないからです。愛のない批判は、人間の限界と罪によって育った毒草です。愛は攻撃を中止させ、武装解除させます。主がそうであったように、私たちは人との関係の中で、人を批判する前に愛を選択しなければなりません。

リビングライフ・コラムより

週報

§ 今年の教会テーマ
「恵みあふれる教会」

§ 今年の主題聖句
「私たちはみな、この方の満ち満ちた豊かさの中から、恵みの上にさらに恵みを受けた。」ヨハネ1章16節

〒513-0035 鈴鹿市矢橋町 471-2
宗教学人 日本ネクスト・タウンズ・クルセード
鈴鹿キリスト福音教会
059-383-5145(教会)
080-3706-8433(牧師)

今週の礼拝メッセージ
30、

使徒 12:25~13:3 11:19-

主 題 「世界宣教に用いられたアンティオキア教会」

ステパノの殉教死という迫害の結果エルサレムに居住することが出来なくなった信者たちは散らされて遠くアンティオキアまでやってきました。そして、そこでもみ言葉を宣べ伝えた結果、信じて救われる人々が多く起こされました。そして誕生したのがアンティオキアの教会です。

それまでは教会はユダヤ人たちだけによって構成されていましたが、アンティオキア教会においては初期よりユダヤ人信者と異邦人（主にギリシャ人）信者が共におりました。

主はこのアンティオキア教会を福音を世界に広げるという宣教の働きのために大きく用いられました。

※ なぜ神はアンティオキア教会を用いて世界宣教の働きを起こされたのでしょうか。

1. 多くの優れたリーダーたちがいた。 13:1
2. 彼らには異なった多様な背景、賜物などがあったが、一致と調和を保っていた。
・多様性を認めつつ、一致、調和を保つのは簡単ではない。
3. その結果、彼らの礼拝には聖霊の豊かな臨在と働きがあった。
13:2 彼らが主を礼拝し、断食していると、聖霊が「さあ、わたしのためにバルナバとサウロを聖別して、わたしが召した働きに就かせなさい」と言われた。
4. 彼らは主の御声に単純に従うという信仰をもっていた。

教会はバルナバとサウロという重要な 2 人を送り出した。

13:3 そこで彼らは断食して祈り、二人の上に手を置いてから送り出した。

- ◎ このメッセージから
*人間とはどういう者でしょうか。

*神はどのようなお方でしょうか。

【報 告】

※ 本日の礼拝では聖餐式をお持ちします。

I コリント 11:23

私は主から受けたことを、あなたがたに伝えました。
すなわち、主イエスは渡される夜、パンを取り、
11:24 感謝の祈りをささげた後それを裂き、こう言われました。「これはあなたがたのための、わたしのからだです。わたしを覚えて、これを行いなさい。」
11:25 食事の後、同じように杯を取って言われました。「この杯は わたしの血による新しい契約です。飲むたびに、わたしを覚えて、これを行いなさい。」
11:26 ですから、あなたがたは、このパンを食べ、杯を飲むたびに、主が来られるまで主の死を告げ知らせるのです。

※ 本日午後には 7 月の役員会があります。

※ 来週、9 日(日曜日)は午後 1 時半から除草奉仕会を行います。